

補修の営業用機材梱包

「通い箱」に切り替え

NHK、100回再利用も

NHKは営業用機材の補修のために使用していた梱包資材を繰り返し使える「通い箱」に切り替えた。以前は段ボール箱を使ったが、環境への対応を考慮し、再利用が可能な材質のものに転換する。通い箱レンタル会社のスターウェイ（東京・港、竹本直文社長）が、

箱の供給や回収を請け負う。

故障したり点検時期を迎えたりした営業スタッフ用端末を全国にあるNHKの拠点七十六カ所から通い箱に入れて製造会社に発送。修理や点検を終えた端末も通い箱でNHKの拠点に戻る。二〇〇七年七月から一部で試行を続けており、実用化のメドが付いたことから本格採用に踏み切った。

導入する通い箱は古紙から作った硬質ボードでできており、百回を超えて再利用に耐える。NHKでは営業端末の修理に全国で年間千往復の段ボール箱のやり取りを続けており、通い箱の導入で資源の廃棄量が抑えられると見ている。